

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】令和2年9月17日(2020.9.17)

【公開番号】特開2019-48648(P2019-48648A)

【公開日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-012

【出願番号】特願2017-172783(P2017-172783)

【国際特許分類】

B 6 5 D 75/60 (2006.01)

B 6 5 D 33/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 75/60

B 6 5 D 33/00 C

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月22日(2020.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

(実施例)

素材としての合成樹脂フィルムは、以下の構成とした。基材フィルムとしてユニチカ社製ナイロンフィルム「エンブレム」(登録商標)(厚さ15μm)を使用し、最内層シーラントフィルムに大和製罐株式会社製1軸延伸PETフィルム「大和ベルファイン」(登録商標)(厚さ12μm)を使用し、これらのフィルムをウレタン系接着剤を用いてドライラミネートにより貼り合わせた。なお、大和ベルファインはMD方向に1軸延伸されたフィルムである。この多層フィルムを、PETフィルムが内側となるように二つ折りし、MD方向が縦になるように縦55mm、横45mmの矩形状に重ね合わせた。前述した図2の(d)に示すように、左辺部5と上辺部4とを熱溶着(ヒートシール)し、併せて上辺部4側の内寸の中央に開封誘導溶着部(易開封部)7と流出路8とを形成した。なお、シール部2の幅Wは10mmとし、開封誘導溶着部7の形状は三角形とした。さらに、流出路8の長さは10mm、開口幅W₈は4mmとし、これは、上辺部4側でのシール部2の内寸L₄の長さが35mmであるからシール部2の内寸L₄の長さの約11%である。さらに、開封誘導溶着部7の突出長さLは、小袋1の内側に向けて5mmとし、したがってシール部2の幅Wの半分とした。

このようにして作成した小袋1に、内容物として約5gの水道水を入れ、中に空気が入らないようにして下辺部6を幅10mmでヒートシールし、満注型液体小袋を作成した。